学校番号	1101

令和２年度　　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂα	単位数	２	年次	２
使用教科書	高等学校　新編「現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	書いて覚える漢字練習ノート（京都書房）						

１ 担当者からのメッセージ

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・文章読解や長文記述などを取り入れた授業を行います。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・小説などの学習においては、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	小説	教材: ・「鉄のしぶきがはねる」 ・「山椒魚」	○			◎	○	a:意欲的に取り組んでいる d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 e：漢字、語句の意味などについて理解し、知識として身に付けたか。	a:行動の観察及び記述の点検 d:視野を広げ感性を磨くきっかけを掴んだか e:小テスト及び定期考査
	評論	教材: ・「素直に生きる」 ・「進化と適応」	○		◎		○	a：考えの進め方や、論理の推移など、文章の筋道を理解しようとしている。 c:筆者の考えや立場を読み取り、要約や主題をまとめることができる e:文章が切り取る現代社会の側面について考えることが出来たか	a：行動の観察及びレポート c:記述の確認及び分析 e:小テスト及び定期考査
後期	小説	教材: ・「花のような人」 ・「こころ」 ・「蘭」	○			◎	○	a：小説を通して。他人の心情を理解する姿勢が身についた d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 e：言葉の特徴や漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論	教材: ・「建築とは何か」	○	◎			○	a：読解に意欲的に取組むことが出来ている b:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 e:文章が切り取る現代社会の側面について考えることが出来たか	a:行動の観察 b:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。